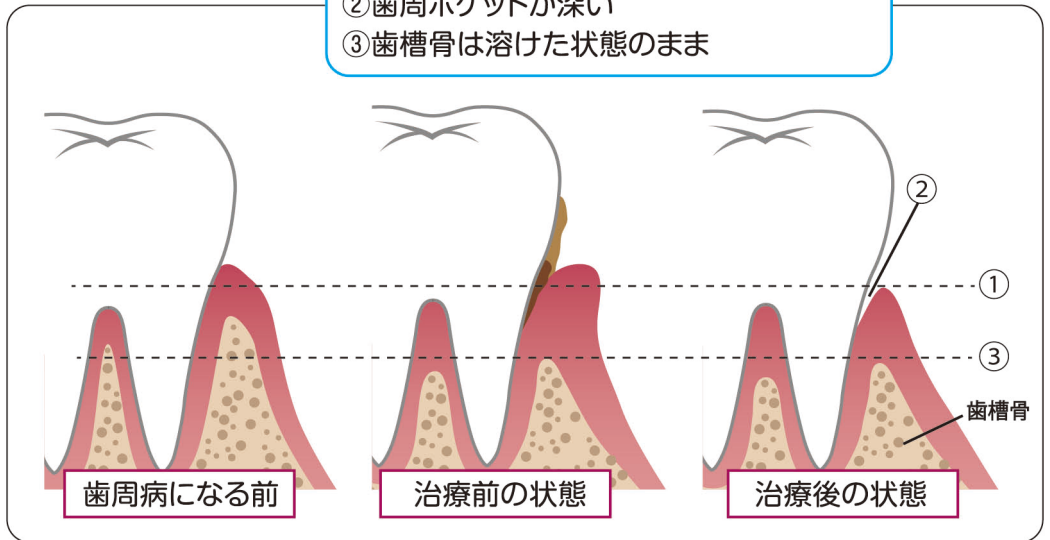


歯周病が再発しやすい原因の一つ 治療後の状態は歯周病になる前と 同じではない

歯周病が進行すると歯槽骨(歯を支える骨)が溶けて、歯周ポケット(歯と歯茎の間にある溝)がどんどん深くなっていきます。治療で歯周ポケットが改善しても本来の健康な状態と同じというわけではありません。歯周病で溶けた歯槽骨も歯周病になる前と同じ状態ではありません。

治療後の状態は歯周病になる前と比べると

- ①歯ぐきが下がっている
- ②歯周ポケットが深い
- ③歯槽骨は溶けた状態のまま

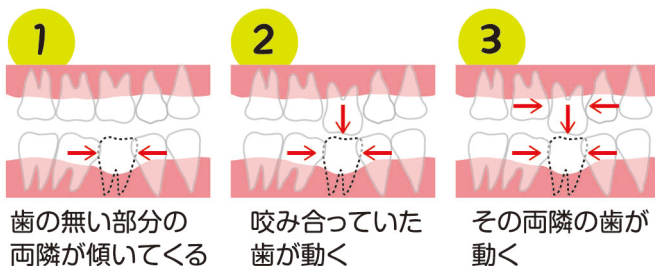


定期的な歯科医院での歯石取りが必要

治療後の状態は歯周病になる前と比べると歯石や歯垢が溜まりやすく、歯周病になりやすい状態といえます。日頃から歯垢が溜まらないように注意することで歯石も溜まりにくくなりますが、誰でも多かれ少なかれ歯石はついてしまいます。歯石は歯磨きで落とすことができないため歯科医院で歯石を取る必要があります。

歯が無い状態が原因で お口や全身の不調に つながることも

歯が抜けたままの状態でも長い間放置すると、イラストのように周囲の歯が動いてしまい、噛み合わせに影響します。



噛み合わせが悪くなると、下顎の位置がずれてしまい顎の痛みや口が開きにくくなったり、噛む筋肉のバランスが悪くなることで、頭痛、肩こり、首の痛みなど、全身の不調につながる可能性があります。

